

第3部 飛び入り歓迎シンプ

福祉人材と利用者の夢～やまゆり園事件から考える～

コーディネーター 迫田 朋子さん（ジャーナリスト）

障害者刺され19人死亡



「障害者いなくなればいい供述

2016年7月26日 朝日新聞

相模原市の施設 26人負傷

相模原市で発生した障害者に対する暴行事件で、元職員が26人を刺したと供述した。事件発生から約1年が経ち、被害者の状況は深刻化している。元職員は「障害者いなくなればいい」と供述し、被害者の苦しみや死を喜ぶという内容も含まれている。

出頭した26歳元職員逮捕

相模原市で発生した障害者に対する暴行事件で、26歳の元職員が逮捕された。事件発生から約1年が経ち、被害者の状況は深刻化している。元職員は「障害者いなくなればいい」と供述し、被害者の苦しみや死を喜ぶという内容も含まれている。

去年起きた、やまゆり園事件。19人の尊い命が奪われました。さらに、元職員の犯行であったという事実は、福祉関係者にとって大きな衝撃となりました。

「障害者への理解が足りないから差別が起きる、障害者と日常的にふれあっていれば理解がすすむはず」といった甘い考えは打ち砕かれました。

同様の事件は、高齢者施設でも起きています。

事件示唆の手紙 衆院議長に

相模原市で発生した障害者に対する暴行事件で、元職員が衆院議長に手紙を送った。手紙には、障害者に対する差別や虐待について示唆が示されている。議長は、事件の真相を究明し、被害者の救済に取り組むと答えている。

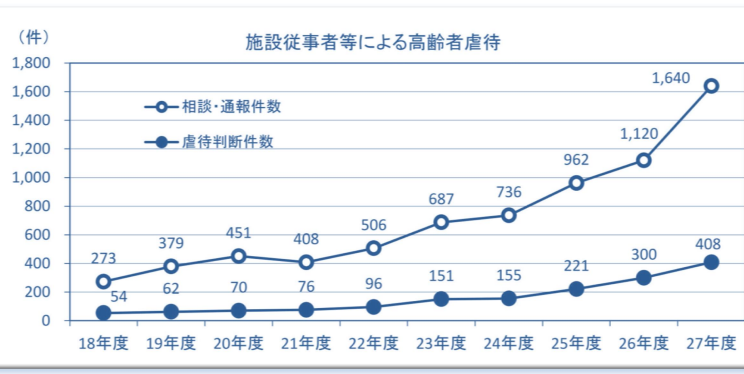
知的障害者ら1元職員による有料老人ホーム連続転落死事件。

2015年度に起きた介護職員による高齢者虐待は過去最悪の408件。

被害者の7割は認知症だったと報告されています。

川崎老人ホーム転落死で元職員を殺人容疑逮捕

川崎市の老人ホームで発生した転落死事件で、元職員が殺人容疑で逮捕された。事件発生から約1年が経ち、被害者の状況は深刻化している。元職員は「障害者いなくなればいい」と供述し、被害者の苦しみや死を喜ぶという内容も含まれている。



川崎老人ホーム転落死で元職員を殺人容疑逮捕

川崎市の老人ホームで発生した転落死事件で、元職員が殺人容疑で逮捕された。事件発生から約1年が経ち、被害者の状況は深刻化している。元職員は「障害者いなくなればいい」と供述し、被害者の苦しみや死を喜ぶという内容も含まれている。

訪問の家「朋」／横浜市

◀ 揺らしたり、たたいたり、合奏に参加



ちょっと待って!

と「えにしの会」の皆さんは、おっしゃるはずです。
福祉にかかわるからこそ、理解が深まり、命の大切さがわかるのだと。
みなが対等でいられることの心地よさがわかるのだと。
この仕事に誇りをもっていることを、今こそ伝えたい、と。



その違いは何なのでしょう。
どこかが、何か間違っているのでしょうか。
教育でしょうか、施設の在り方でしょうか。
社会の仕組みでしょうか。

▲パン食い競争にも

私たちは今、何をすべきなのか。
飛び入り、大歓迎です。みなで、大議論をしましょう。



▲スタッフの結婚式ではジジババが神父役、
ケーキづくり

◀「ゴミ屋敷」にいた女性 「あおいけあ」／藤沢市